

平成29年4月26日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 工藤 稔

全役職員（約7,200名）による「ユニバーサルマナー検定3級」の取得
～お客さま一人ひとりの視点に立った行動の実践に向けて～

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長 工藤 稔）は、シニアの方や障がいのある方をより深く理解し、お客さま一人ひとりに配慮した真心のこもった対応を実践するため、一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会（大阪市、代表理事：垣内俊哉）が主催する「ユニバーサルマナー検定3級」を本社および全国の支社の役職員全員（約7,200名）が取得します。

全国に支社を有する生命保険会社での全役職員の当検定取得は、業界初の取組みとなります。

本検定の取得を通して、様々なお客さまへのサービス品質の向上に繋げるとともに、役職員全員による“お客さま一人ひとりの視点に立った行動の実践”を通じて、お客さまの満足度の増大を目指してまいります。

1. 「ユニバーサルマナー検定3級」の取得

○「ユニバーサルマナー検定」とは、ユニバーサルマナーの実践に必要な「マインド」と「アクション」を体系的に学び、身につけるための検定です。シニアの方や障がいのある方、ベビーカー利用者など多様な人々の特徴や心理状況を知り、そのうえでケースバイケースの適切なサポート方法を学ぶことができます。

○取得対象者は、東京・大阪本社および全国の支社97拠点の全役職員約7,200名です。東京・大阪本社に講師を招き、全国の支社とTV中継し、同検定の資格取得講座を役職員向けに実施します。第1回目は5月1日（月）に行い、平成30年2月までに計7回実施予定です。

2. 「体験型介助セミナー」の体験

○「体験型介助セミナー（実施団体：公益財団法人日本ケアフィット共育機構）」では、「サービス介助士」資格における介助技術の基礎を学びます。主に、交通機関、宿泊施設、デパート、小売店などさまざまな業種の社員研修で導入されており、シニアの方や障がいのある方の不便さや心理的負担を「体験して気づく」ことで、お客さまの視点に立った配慮ある適切な対応につなげていくことを目的としています。

○全国の支社（97 拠点・全役職員約 5,000 名）では、ユニバーサルマナー検定で学んだことをより実践に活かすため、支社に講師をお招きし、障がいの種類に応じた具体的なサポートスキルを実際に体験しながら学びます（平成 29 年 8 月以降実施）。

<ご参考>

■「全国障害者スポーツ大会」への特別協賛

大同生命は、国内最大の障がい者スポーツの祭典「全国障害者スポーツ大会」に、毎年特別協賛しています。この取組みは、創業 90 周年の平成 4 年に開催された、同大会の前身である「全国知的障害者スポーツ大会（ゆうあいピック）」第 1 回東京大会より、四半世紀にわたり継続しているものです。

これからも、大同生命は、人々が、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指して、様々な取組みを進めてまいります。

以 上